



AWA BANK  
NEWS RELEASE

2022年7月15日

株式会社 阿波銀行

山下運輸株式会社の「SDGs 宣言書」策定について  
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、山下運輸株式会社（代表取締役 庄司 功、本社：大阪府大阪市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

|       |                        |
|-------|------------------------|
| 企 業 名 | 山下運輸株式会社               |
| 所 在 地 | 大阪府大阪市大正区鶴町五丁目 3 番 3 号 |
| 代 表 者 | 庄司 功                   |
| 業 種   | 運送業                    |
| 設 立   | 1949 年 10 月 8 日        |

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

# SDGs宣言書

2022年7月15日



## 山下運輸株式会社 代表取締役 庄司 功

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

| 項目    | テーマ              | 取組み内容                                       | ①取組みと②数値目標                                                                                | SDGsのゴール |  |
|-------|------------------|---------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|----------|--|
| 環境    | ゴミ・廃棄物削減         | 未来の地球環境を守るため、自社で排出する廃棄物の削減やリサイクル等の活動に努めます。  | ①(1)廃棄物排出量の削減、リユース・リサイクルの推進<br>(2)ペットボトル・空き缶の分別回収やリサイクル活動<br>(3)ペーパーレス化の推進                |          |  |
|       |                  |                                             | ②(1)2025年度までに廃棄物排出量5%削減(2022年度比)<br>(2)2025年度までにリサイクル率30%<br>(3)2025年度までに毎年、前年度比5%削減      |          |  |
| 環境・経済 | 省エネ・温室効果ガスの排出削減  | CO2排出抑制のために、エネルギー使用量の把握に努め、さらなる省エネ節電を推進します。 | ①(1)エネルギー使用量の把握・削減<br>(2)再生可能エネルギーの導入・利用推進<br>(3)温室効果ガスの排出算定・削減                           |          |  |
|       |                  |                                             | ②(1)2025年度までに集計体制を構築<br>(2)エネルギー使用量における再エネ率30%<br>2030年までに再エネ設備の取得<br>(3)2025年度までに集計体制を構築 |          |  |
| 環境・経済 | 移動・輸送における環境配慮の推進 | 社有車、従業員の移動、製品の輸送などにおいて、より環境に配慮した手段を選択します。   | ① 電気自動車・燃料電池車の導入                                                                          |          |  |
|       |                  |                                             | ② 2025年度までに電気自動車 2 台導入およびEV充電スタンドの設置                                                      |          |  |
| 環境・社会 | 環境問題の認識・理解の推進    | 環境問題を自分事として取組むために、環境意識のさらなる向上に努めます。         | ① 環境問題への認識や理解度を従業員と共有し環境保全における知識レベルを向上                                                    |          |  |
|       |                  |                                             | ② 2025年度までに毎年 1 回以上、環境問題に関する勉強会を実施                                                        |          |  |

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。